

# 住民自治による まちづくりを 成功させるために

～ 体験から得た 5つの提言 ～

平成27年2月22日

宇都宮市まちづくり人づくりアドバイザー  
姿川地区まちづくり協議会 元副会長  
兼 同協議会 将来ビジョン策定特別委員長  
みやのもり自治会 元会長

井上好昭

# 内 容

## 1 宇都宮市の一口紹介 … 3ページ

## 2 5つの提言 … 4～19ページ

(提言1)何故, 自分達のまちは自分達で作らねばならないか …4～7ページ

(提言2)どうしたら, 住民にまちづくり活動へ参加してもらえるか …8～10ページ

(提言3)自治会があるのに何故まちづくり協議会が必要か …11～15ページ

(提言4)今がチャンス! …16～17ページ

(提言5)まちづくりは自分達の為であり, 楽しい事である。 …18～19ページ

## 3 結び … 20ページ

# 1 宇都宮市の一口紹介

- 1 栃木県の県庁所在地
- 2 人口 約50万人
- 3 まちづくり協議会数 39地区
- 4 まちづくり協議会設立時期 平成15年  
(ピーク時)

## 2 5つの提言

(提言1) 「何故、自分達のまちは

**自分達の手で作らなければならないか」**

宇都宮市の例

- (1) この**浸透度が成否のカギ**を握っている。
- (2) 未だ、各地区で本テーマでの研修を繰り返している
- (3) その内容の一部をご紹介します

# ＊住民によるまちづくりの必要性

1 政治, 行政, 警察, 学校等任せでは  
解決できない**4大課題**の台頭～深刻化

## <4大課題>

- ①防犯・防災
- ②高齢化問題(絆)
- ③子どもの健全育成(地域で子どもを育てる)
- ④地域まちづくり財産や伝統文化の維持・継承

2 住民ニーズの多様化

## これ等は

- ・身近で切実な問題ばかり
- ・年々深刻さを増す

↓ 結局

- ・**住民主体で解決する他なし**

その上で

👉 行政等とは役割を分担して「**協働**」する



※ 以上のことを**全住民**で**共有**されることを  
まず、おすすめします。

## (提言2) 「どうしたら 住民にまちづくり活動へ参加してもらえるか」

※住民には「世の為に尽くしたいという人生観」が広がっている

- ・定年退職者へのアンケート
  - ・国民性調査結果)
- } → それを引き出す

👉 具体的には

- (1) 住民ニーズに基づいたまちづくりを行う。
- (2) まちづくりの動きを実際に見せる。  
(動きのないところに人は集まらない)

(3) やさしい事から始め、  
年々ステップアップさせる。  
(実行しやすく住民もレベルアップする)

(4) 各組織の風通しを良くする。  
(受入れ体制を整える)



## ※提言 1～2による効果の実例紹介

・・・みやのもり自治会の例

①戸数 196戸

②自治会加入率 **100%**

③子どもからセカンドライフ者までの  
**全住民が自治会員として活動**している

④まちづくり, 防犯, 交通安全他, 県, 市の  
モデルとされている。(資料1)

# 資料1

ふれあい親睦会



## (提言3)「自治会があるのに、何故まちづくり協議会が必要か」

(1) 自治会は、地縁を束ね、  
組織のタテ軸(ライン)として必要不可欠

### (2) 両方が必要な理由

① 多様化する住民ニーズに対し、自治会のみでは対応しきれない。

② まちづくり協議会と自治会の**相乗効果**が図れる。

## 例示1

### **姿川第一小学校前通学路の大型車通行規制の例**

- 同校は、児童数980人のマンモス校(市内で2番目)でこの問題は長年の懸案であった。
- 単一自治会では不可能であった。
- **まちづくり協議会と関係19自治会がまとまり実現した。**
- 住民や父兄に喜ばれ、新聞でも報道された。  
(資料2)

23 さくら 028(681)7023 | 下野支局 0285(51)1023 | 茂木支局 0285(64)1123  
 24 支局 FAX(681)7024 | FAX(51)1024 | FAX(64)1124

# 県央・宇都宮版

## 登校時の大型車進入禁止

### 旧栃木街道、規制始める

宇都宮南署

【宇都宮】鹿沼市で4月に児童6人がクレーン車にはねられ死亡するなど登校中の交通事故が発生する中、宇都宮南署は29日、姿川第一小児童の通学路になっている通称・旧栃木街道への大型トラックなどの進入禁止規制を始めた。規制は登校時間帯の平日午前7時から同8時半まで。同署管内では2010年10月、横川東小正門前で児童が乗用車にはねられ6人が重軽傷を負う事故が起きており、保護者らの要請を踏まえ事故抑止対策に乗り出した。(佐野恵)

### 姿川一小的保護者ら要望

同署によると、栃木 淀橋南交差点(壬生町 旧栃木街道の西川田本町2丁目交差点の計5カ所に交通標識を設置し、登校時間帯の旧栃木街道への進入を禁止した。違反したドライバーは反則金9千円と違反点数2点が科される。



29日から交通規制が始まった交差点を  
通って登校する姿川第一小の児童ら

旧栃木街道は、平行して走る栃木街道の抜け道として利用するドライバーが多い。歩道

が狭くガードレールが設置されていない危険な場所も少なくないと言われ、同校や地域住民などが同署に交通規制を要望していた。姿川第一小の児童数は計890人。同校の石野玲子校長は「児童

数が年々増加しており、登校中の子どもたちの安全確保が急務だった。規制で通学路の安全性が高まることを期待している」と話している。

## 例示2

### 宇都宮市の一斉清掃(年3回)へ子どもを参加させている例

(1) 自治会単位で実施している一斉清掃へ  
**まちづくり協議会が呼び掛けて実現**している。

(効果)

① 子どもの参加は、親の参加につながり、  
**各自治会を活性化**させている。

② 子どもの健全育成に直結している。(資料3)  
(ふれあい, 郷土愛, 公共心等)

# 資料3



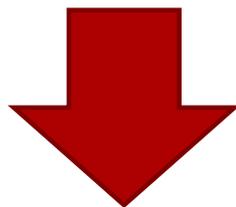
## **（提言4） 今がチャンス！**

- (1) 国を挙げて、地方創生のスタートである。
- (2) 住民にまちづくりへの参加意識が高まっている。
- (3) 現在は「まちづくり担い手」の交替期である。  
（高齢化）  
→ 新しい担い手の取り込みが必要
- (4) 多様化する住民ニーズへの対応も必要である。

※御市の今回の打ち出しは、  
上記のすべてにマッチする！

(1) タイミングが最高！

(2) 取り組み手順も素晴らしい



 **住民を幸せにする**

## (提言5)

「まちづくりは 自分達の為であり、  
楽しい事である。」

### (1) 5つの楽しさ

- ①参加する楽しさ
- ②まちが出来上がる楽しさ
- ③人々とふれあう楽しさ
- ④人に喜んでもらう楽しさ
- ⑤後世に残せる楽しさ

人生の  
幸福度に  
直結する

## (2) 自分の体験から(兼 自己紹介)

○鹿児島県出身

○大企業のOB

○転勤が多く、幾多の「まち」を体験してきた



①現役時代に思っていた「まちづくり観」

②現在の「まちづくり観」

- ・「自ら関わるまちに勝るものなし」…5つの楽しさ
- ・「終わり良ければすべて良し」…人生にこそあり

### 3 結び

- (1) 長州は、まちづくり・国づくり・人づくりに  
おいて歴史にその名を刻んでいる“本場”
- (2) 御市の今回の成功と全市民のご多幸を  
お祈りいたします。